

## 単元名 わすれられない気持ち(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 表したい場面や気持ちに合う形や色を見付け、用具や材料の使い方や表現方法を工夫することができる。
- (2) 心に残っている場面を思い出し、気持ちに合った形や色・表し方を考えるとともに、友達と絵を見せ合いながら、表したい様子やその時の気持ち、表し方の工夫について話し合い、感じ取ることができる。
- (3) 生活の中で心に残った場面やその時の気持ちを、絵に表すことを楽しもうとする。

## 標準的な展開例

04080106\_001

【準備等】画用紙、色画用紙、パス、水彩用具一式、クレヨン、色鉛筆、サインペン、デジタルカメラなど

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 今までの生活の中で、心に深く残っていることを思い起こして、そのときの気持ちを発表し、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活を振り返り、心に深く残っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこで…学校や家</li> <li>・だれと…友達、上級生、下級生</li> <li>・どんなことを…ドッジボール、遠足</li> <li>・どんな気持ち…楽しい、うれしい</li> </ul> </li> <li>★心に残っていることを絵で表そう <ul style="list-style-type: none"> <li>○スケッチを数枚かいて、構想を練る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なスケッチ</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>2～5 スケッチを基に、表現する計画を立て、工夫しながら絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スケッチの中から一つに決めて、友達に人物の動きのポーズをとってもらい、表現の参考にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の動き</li> <li>・表情</li> </ul> </li> <li>○スケッチを基に、下絵を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物</li> <li>・周りの様子</li> </ul> </li> <li>○工夫しながら色を塗る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水の量</li> <li>・筆づかい</li> <li>・混色</li> <li>・重色</li> </ul> </li> <li>○全体の色の調子を整えながら、作品を完成する。</li> </ul> <p>6 印象に残ったことを話し合い、友達の作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いをみんなの前で発表する。</li> <li>○友達の作品のよさをみんなで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い中、剣道の練習をがんばっていることが伝わる。</li> <li>・静かにじっと水墨画を眺めていて、いろいろ考えているよう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書3・4下 P.26, 27</li> <li>・普段の生活の様子を話し、具体的にイメージができるようにする。</li> <li>・具体的な様子が分からない児童は、文章や写真で表現することで、イメージを明確にさせてもよい。</li> <li>・自分が大きくかけているものや周りの様子がよく分かるものを選ばせる。</li> <li>・スケッチの段階で、教師は児童の思いをよく理解し、表現の工夫の支援をする。</li> <li>【評】表したい様子を思い出し、どのように表現すればよいのか工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・友達にモデルをやってもらうことにより、人の動きをとらえさせる。</li> <li>・デジタルカメラでポーズを撮影して、絵の資料としてもよい。</li> <li>・自分が一番表現したいものを中心にして、そのときの表情や動きを捉えさせる。</li> <li>・表現の方法については、水彩絵の具だけにこだわらずに、クレヨンや色鉛筆を使うなど、いろいろなかき方を認めていく。</li> <li>【評】表したい様子に合わせて、形や色を工夫する活動を通して、「知識・技能」を評価する</li> <li>・テーマ別に並べるなど展示を工夫する。</li> <li>【評】自分や友達の作品の表したい様子や気持ちを感じながら、表し方の工夫を見付け、絵を味わう活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

特別な教科道徳との関連について

C - (17) 「他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。」との関連が深いため、教科書P. 27「外国の友だちの絵」を取り上げ紹介するとよい。